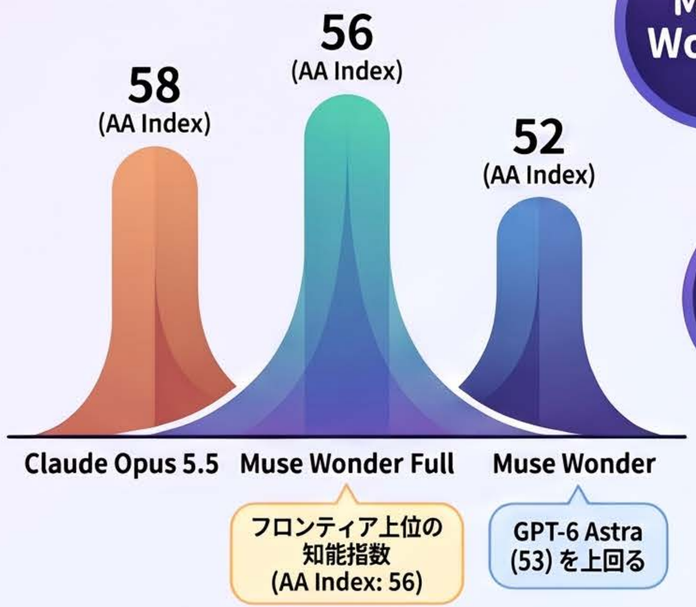
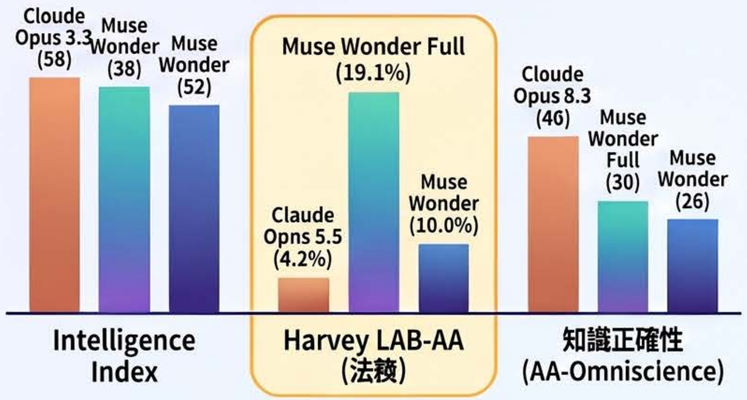
Meta「Muse Wonder」登場：知財・法務実務での評価と活用ポイント

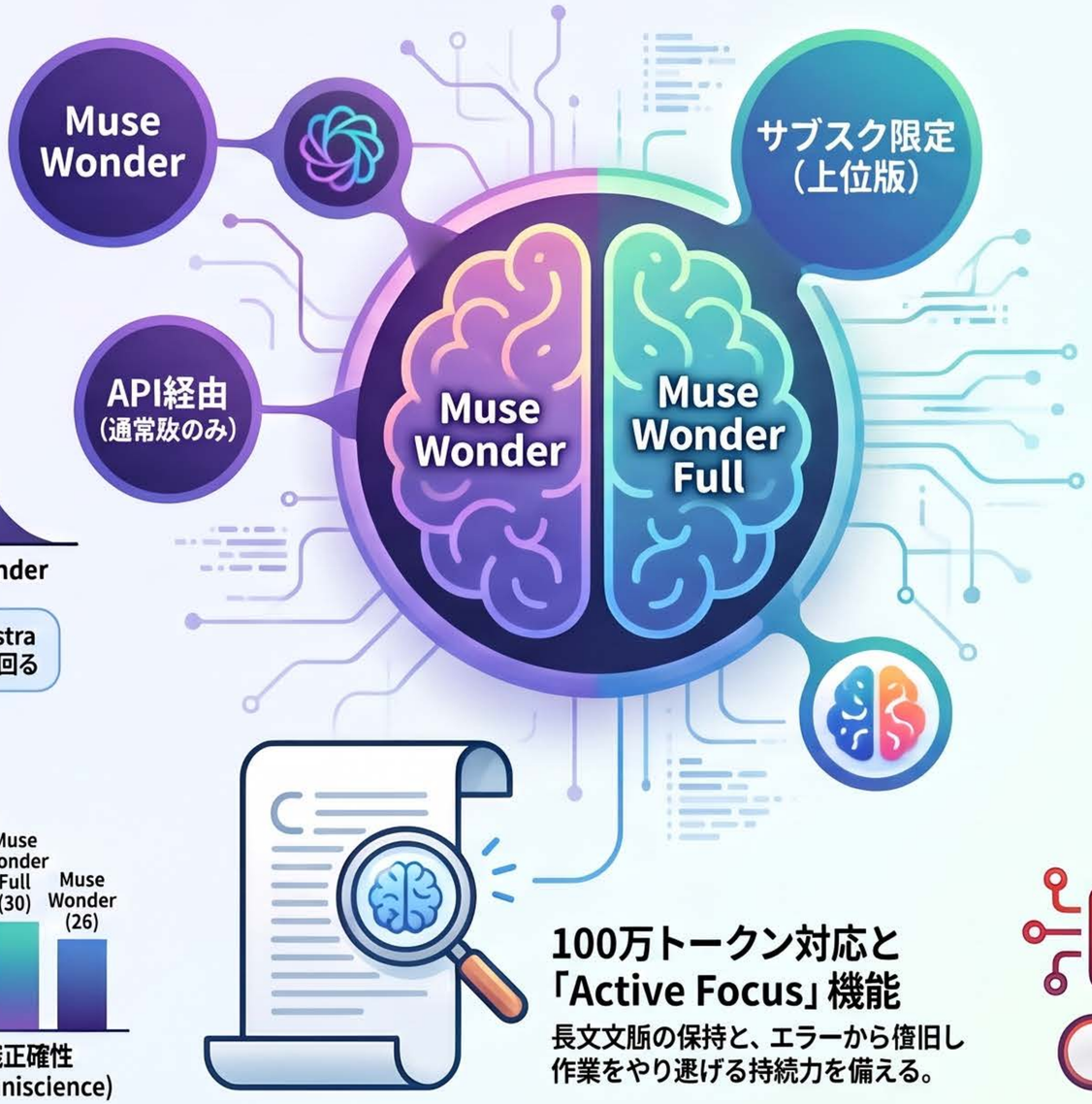
Metaの最新AIモデル「Muse Wonder / Wonder Full」の性能、提供条件、および知財・法務実務における適性とセキュリティ上の注意点をひと目で理解する。

モデル概要と性能スペック

2つの提供形態と性能







100万トークン対応と「Active Focus」機能

長文文脈の保持と、エラーから復旧し作業をやり遂げる持続力を備える。

知財・法務業務への影響と注意点

実務への適用とリスク



文書読解・作成（中間処理案・契約レビュー）に最適

渡された資料を読み込んで指示通り作業を完遂するタスクで真価を発揮。



知識の記憶を頼る「先行技術調査」には不向き

知識評価（30点）が低いため、単独での文献調査にはリスクがある。



機密案件での「学習利用設定」変更が必須

サブスクは既定で入力が学習に使われるため、オフへの変更が欠かせない。

Gemini Notebook